

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【公開番号】特開 2001-236025 (P2001-236025A)

【公開日】平成 13 年 8 月 31 日 (2001.8.31)

【出願番号】特願 2000-379725 (P2000-379725)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/70 (2006.01)

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

H 0 5 B 33/06 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/00 3 4 8 C

H 0 4 N 5/70 Z

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/06

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 26 日 (2007.10.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発光素子と、前記発光素子に電氣的に接続された第 1 の配線群と、を有する第 1 の基板と、

端子部と、前記端子部に電氣的に接続された第 2 の配線群を有する第 2 の基板と、

前記第 1 の配線群と前記第 2 の配線群とを電氣的に接続する導電体と、を有することを特徴とする発光装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記端子部は、前記第 2 の基板の一方の面側に配置されており、

前記導電体は、前記第 2 の基板の他方の面側に配置された前記第 2 の配線群と接していることを特徴とする発光装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 において、

前記発光素子及び前記第 1 の配線群は、前記第 1 の基板の一方の面側に配置されており、

前記導電体は、前記第 1 の基板の他方の面側に配置された接続配線と接しており、

前記接続配線は、前記第 1 の基板を貫通するビアホールを介して前記第 1 の配線群と電氣的に接続されていることを特徴とする発光装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一項において、

前記端子部には、F P C が取り付けられていることを特徴とする発光装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一項において、
前記第 2 の配線群は、前記第 1 の配線群よりも低抵抗の材料を用いて形成されているこ
とを特徴とする発光装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一項において、
前記第 2 の配線群は、銅、銀、金、アルミニウム、又はニッケルを含む金属膜を用いて
形成されていることを特徴とする発光装置。